

ICTで 授業 をDX！

学年 中学校2年 教科 総合的な学習の時間 など

タブレットを用いて見やすく・わかりやすく！

使用するアプリケーション等

- ・ Google Classroom
- ・ Google スライド
- ・ スクールタクト

単元・題材 自分の興味のある上級学校について調べよう

本時の目標 自分の興味のある上級学校について調べ、わかりやすくレポートにまとめる。
(思考力、判断力、表現力等)

ICTを活用することで できること

これまででは、総合的な学習の時間の調べ学習において、資料を集める・調べる→メモを取る→専用の用紙にまとめる→ペンなどで清書するの流れで調べた内容を新聞やレポートの形でアウトプットしていた。しかし、絵を描くのが苦手な生徒や、文字を丁寧に書くのが苦手な生徒なども少なからずいるのが現状であった。また、作成物のための図版印刷を個別対応で行ったり、作成物を保管・管理するにあたって教員の業務が増加していた。描画や文字を書くことに苦手意識のある生徒についても端末上でレポートを作成することで、上級学校のHPなどから直接図版を持てることができ、主体的に取り組むことができた。また、教員が作成物の提出状態や進捗状況を見ることで、紙を一枚一枚チェックするなどの業務の削減につなげることができた。

DX前 (ICTを使っていなかった頃は・・・)

1 導入

自分は上級学校に進学したらどんなことがしたいか考えよう。

2 展開

目当て 自分の興味のある上級学校について調べてレポートにまとめよう。
課題 上級学校についての知識を深め、興味を持つ。
自分の目的とする情報を調べる方法を身に付ける。
わかりやすく表現をして、自分の知識を他人に伝える。

- ① 自分の興味のある上級学校について高校のパンフレットなどを用いて調べる
 - 調べる項目(高校の所在地・校風・制服・制度など)ごとに情報を調べる。
 - 上級学校に関する図版(学校の外観・校章・制服など)を調べる。
- ② 調べた内容をメモ用紙などにまとめつつ、清書時のレイアウトを考える。
 - 取得した学校の情報を、メモ用紙に自分の言葉でまとめる
- ③ メモ用紙の内容をもとに、清書用の紙に下書きを行う
 - メモ用紙にまとめた情報を、項目ごとに清書用用紙に下書きを行う。
 - 調べた図版を清書用用紙に書き込む。
- ④ 清書を行う。
 - 下書きをもとに、ペンなどを用いて清書を行う。色を用いて強調する箇所などを目立たせる。
 - 図版を清書し、色を付ける。
 - 作成物を廊下などに掲示して、調べた内容を共有する。

3 まとめ

自分の興味のある上級学校について知識を深め、進学後のイメージを持つことができる。

- ① 他の生徒の掲示物を見て、自分の調べた学校だけでなく、知らなかった学校について知る。
- ② 調べてまとめた内容や、感じたことを振り返る。

DX!

DX後 (赤字はICT活用場面)

1 導入

- ① 上級学校ってどんなところだろう？
- ② 自分は上級学校に進学したらどんなことがしたいかを
スクールタクトを用いて意見を共有する。

2 展開

目当て 自分の興味のある上級学校について調べてレポートにまとめよう。
課題 上級学校についての知識を深め、興味を持つ。
自分の目的とする情報を調べる方法を身に付ける。
表現を工夫することで、自分の知識を他人に伝える。

- Google Classroomのクラスに課題を提示する。

- ① 自分の興味のある上級学校についてWebサイトや高校のパンフレットなどを用いて調べる。
 - 調べる項目(高校の所在地・校風・制服・制度など)ごとに情報を取得する。
 - 上級学校に関する図版(学校の外観・周辺地図・校章・制服など)を調べる。

- ② 調べた内容をメモ用紙やGoogle スライドなどにまとめつつ、レイアウトを考える。

- 取得した学校の情報をわかりやすいように、自分の言葉でメモ用紙にまとめる。
- 必要な情報や図版(学校の周辺の地図・校章・学校施設・制服など)をスライド上にコピーする。

- ③ 清書用のGoogle スライドを作成、提出する。

- コピーした文言の修正や、文字のずれを修正する。
- 見出しの設置や図版・色などを用いて強調する。
- Google スライドを印刷し、廊下等に掲示する。

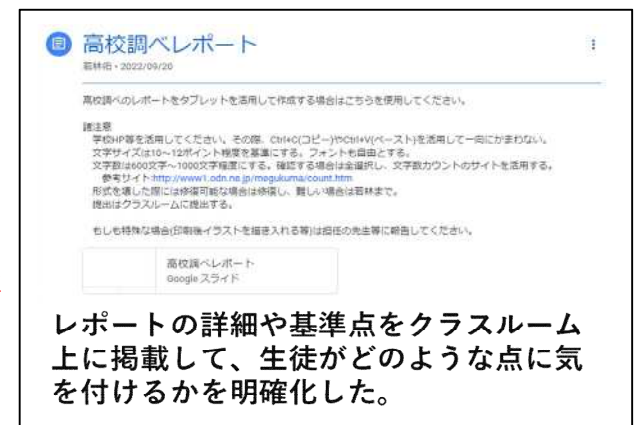
3 まとめ

自分の興味のある上級学校について知識を深め進学後のイメージを持つことができる。

- ① 他の生徒の掲示物を見て、自分の調べた学校だけでなく、それまで知らなかった学校について知る。
- ② 調べ学習を行った内容を振り返る。



学びポケットのスクールタクトを用いて情報を共有化することで、生徒間での意見共有を円滑に行うことができた。



レポートの詳細や基準点をクラスルーム上に掲載して、生徒がどのような点に気を付けるかを明確化した。



実際に生徒が作成し、掲示されているレポート。

授業者から (成果・課題・留意点)

- ・今まで作成物を苦手にしていた生徒もまとめることができ、イラストや文字が見やすい新聞を作成することができた。
- ・教員の立場では進捗状況や提出状況が一目でわかるようになり、書類管理が容易にできた。また、生徒の図版印刷を個々に対応する必要がない他、教室で作成を行えるため生徒の移動がなく指導が容易であった。
- ・端末操作に苦手意識を持つ生徒は作成が難しかった。そのため、生徒に紙で作成するかスライドで作成するかを選択させ、生徒が作成しやすい方法で調べ学習を行うことができた。